

平成30年北海道胆振東部地震による被害状況等（第121報）

主な変更点

○人的被害

- ・死亡 43 → 44（災害関連死 + 1）
- ・重傷 48 → 51（重傷者の判明 + 3）

○建物被害

・住家被害

全壊	469	→	479	(+10)
半壊	1,660	→	1,736	(+76)
一部損壊	13,849	→	22,741	(+8,892)

・非住家被害

全壊	1,165	→	1,213	(+48)
半壊	1,325	→	1,407	(+82)
一部損壊	3,751	→	3,881	(+130)

市町村における

被害認定調査の進捗

による増

○被害額

164,768 百万円 → 162,089 百万円（▲2,679 百万円）

水道施設の補修費の精査等による減

平成 30 年北海道胆振東部地震による被害状況等（第 121 報）

R元. 9. 5 現在

北海道総務部危機対策局危機対策課

連絡先：防災グループ（ダイヤル） 011-204-5008

※これは速報値であり、数値等は今後変わることがあります。

1 地震の概況【省略】

2 被害の状況

(1) 人的被害：死亡 44

① 警察が検視により確認している死者数

41（札幌市 1、苫小牧市 2、厚真町 36、むかわ町 1、新ひだか町 1）

② 市町村において災害弔慰金の支給等に関する法律に基づき、災害が原因で死亡したものと認められたもの

3（札幌市 2、厚真町 1）

重傷 51（栗山町 1、札幌市 1、江別市 1、北広島市 1、石狩市 1、苫小牧市 9、安平町 7、むかわ町 27、新冠町 1、帯広市 1、士幌町 1）

中等傷 8（江別市 1、日高町 2、函館市 5）

軽傷 726（三笠市 2、芦別市 1、由仁町 2、札幌市 294、江別市 3、千歳市 11、恵庭市 3、北広島市 6、石狩市 1、室蘭市 2、苫小牧市 15、伊達市 1、厚真町 61、安平町 10、むかわ町 250、日高町 34、新ひだか町 4、平取町 3、函館市 5、帯広市 12、本別町 1、幕別町 2、音更町 1、厚岸町 1、猿払村 1）

(2) 建物被害

① 住家被害：全壊 479（札幌市 99、江別市 1、千歳市 1、北広島市 17、厚真町 233、安平町 93、むかわ町 32、日高町 3）

半壊 1,736（由仁町 2、南幌町 1、札幌市 785、江別市 23、千歳市 1、北広島市 20、苫小牧市 5、登別市 1、厚真町 329、安平町 364、むかわ町 147、日高町 54、平取町 3、函館市 1）

一部損壊 22,741（夕張市 1、美唄市 7、三笠市 18、深川市 1、由仁町 19、長沼町 28、栗山町 14、沼田町 1、南幌町 4、新十津川町 1、札幌市 13,350、江別市 329、千歳市 328、恵庭市 24、北広島市 857、石狩市 132、当別町 11、新篠津村 1、小樽市 19、蘭越町 1、岩内町 1、室蘭市 55、苫小牧市 473、登別市 40、白老町 5、厚真町 1,085、洞爺湖町 1、安平町 2,478、むかわ町 2,809、日高町 446、平取町 131、新ひだか町 57、函館市 10、森町 3、帯広市 1）

② 非住家被害：全壊 1,213（札幌市 7、江別市 4、厚真町 682、安平町 343、むかわ町 177）

半壊 1,407（札幌市 27、江別市 2、厚真町 670、安平町 555、むかわ町 152、平取町 1）

一部損壊 3,881（栗山町 2、札幌市 240、江別市 15、千歳市 1、石狩市 4、当別町 1、室蘭市 36、苫小牧市 19、登別市 5、厚真町 812、安平町 2,178、むかわ町 565、新ひだか町 1、七飯町 2）

(3) 住民避難 なし (累計 16,649 人)

(4) ライフライン【継続分のみ】

- ・道 道：通行止め 2 路線 2 区間 (瑞穂安平停車場線、貫気別振内線)

3 避難勧告等の発令状況【詳細は別表のとおり：継続分のみ】

- ・避難指示 (緊急)：安平町

別表

住 民 避 難 情 報

1 避難指示 (緊急)【発令中の地区に係る分のみ】

振興局	市町村	地区	対象世帯数	対象人数	発令日時	解除日時	理由
胆振	安平町	早来北進	6世帯	17人	2/25 13:00		斜面に亀裂が有り、崩落の恐れ (区域縮小)
胆振	安平町	追分柏が丘	7世帯	15人	12/17 8:30		斜面に亀裂が有り、崩落の恐れ
	計		13世帯	32人			

平成30年北海道胆振東部地震による被害の状況について

令和元年（2019年）9月5日

北海道総務部危機対策課

1 地震の概要

平成30年9月6日午前3時7分、胆振地方中東部、深さ37キロメートルを震源とするマグニチュード6.7、最大震度7を記録する大規模な地震が発生。

<<各地の震度>>

震度7：厚真町

震度6強：安平町、むかわ町

震度6弱：札幌市東区、千歳市、日高町、平取町

震度5強：札幌市清田区・白石区・手稲区・北区、苫小牧市、江別市、三笠市、恵庭市、長沼町、新ひだか町、新冠町

震度5弱：札幌市厚別区・豊平区・西区、函館市、室蘭市、岩見沢市、登別市、伊達市、北広島市、石狩市、新篠津村、南幌町、由仁町、栗山町、白老町

2 被害等の状況（令和元年（2019年）9月5日現在）

（1）概要

区 分		内 容		
人的被害	死 者	44 人	<ul style="list-style-type: none"> 警察が検視により確認している死者数 41(厚真町36、苫小牧市2、むかわ町1、新ひだか町1、札幌市1) 災害弔慰金の支給等に関する法律に基づき、災害が原因で死亡したものと認められたもの 3(札幌市2、厚真町1) 	
	負 傷 者	785 人	重傷51、中等傷8、軽傷726	
住家被害	全 壊	479 棟	厚真町233、札幌市99、安平町93、むかわ町32、北広島市17、日高町3、江別市1、千歳市1	
	半 壊	1,736 棟	札幌市785、安平町364、厚真町329、むかわ町147 ほか	
	一部損壊	22,741 棟	札幌市13,350、むかわ町2,809、安平町2,478、厚真町1,085 ほか	
区 分	最 大		現 在	
住民避難	避難所数	128市町村、768箇所		なし
	避難者数	累計 16,649人		なし
ライフライン	道 路	通行止め 国 道：4路線 4区間 道 道：14路線 20区間 高速道路：4路線 6区間	通行止め 国 道：通行止めなし 道 道：2路線 2区間 高速道路：通行止めなし	
	鉄 道	在来線・新幹線 全面運休		平常運行
	空 港	新千歳：国内線・国際線 全便欠航 その他：一部欠航		平常運航
	電 気	停電 295万戸（道内全域）		なし
イ	水 道	施設被害による断水 7市町 24,826戸 停電による断水 ※給水部分は含まない。 39市町村 43,509戸	断水なし	

(2)被害額等

(道分及び市町村分)

【令和元年(2019年)9月5日時点】

区 分	箇所(件)数	被害額 (百万円)			備 考		
		地震関係	停電関係	計			
総務部	施設被害	153	313	2	315	庁舎・私立文教施設等の損壊	
総合政策部	港湾施設被害	1	3,170	-	3,170	苫小牧港の損壊	
	施設被害	11	28	12	40	研究施設等の損壊	
	小 計	12	3,198	12	3,210		
環境生活部	施設被害等	-	4,871	-	4,871	水道施設・文化施設等の損壊、災害廃棄物処理	
保健福祉部	施設被害等	131	4,886	9	4,895	社会福祉施設等の損壊	
経 済 部	商業被害	-	1,068	10,849	11,917	建物・設備の損壊、商品の廃棄等	
	工業被害	-	664	1,576	2,240	建物・設備の損壊、製品の廃棄等	
	その他	-	10,263	1,131	11,394	建物・設備の損壊、原材料の廃棄等	
	小 計	-	11,995	13,556	25,551		
農 政 部	農作物被害	263ha	346	-	346	水稻・デントコーン・かぼちゃ等の埋没等	
	収穫物被害	353t	-	54	54	馬鈴しょ・かぼちゃ等の廃棄	
	家畜被害	530,647頭・羽	20	69	89	鶏・豚等のへい死、乳用牛の廃用	
	畜産物被害	23,437t	-	2,363	2,363	生乳・枝肉・卵の損失	
	果樹の樹体被害	8,000本	4	-	4	ハスカップの埋没	
	営農施設被害	2,201	2,299	-	2,299	格納庫・畜舎等の損壊	
	農協等施設被害	51	3,141	-	3,141	共同利用施設の損壊	
	地方公共団体施設被害	1	162	-	162	競馬場の損壊	
	農地・農業用施設等被害	301	9,466	-	9,466	農地への土砂堆積、用排水路等の損壊	
	採草放牧地被害	0.3ha	1	-	1	採草放牧地の崩壊	
	小 計	-	15,439	2,486	17,925		
水産林務部	漁港施設	15	403	-	403	漁港施設の損壊	
	水産施設	9	3	2	5	共同利用施設の損壊	
	種苗・水産物等	15	-	10	10	畜養魚のへい死、冷凍品の溶解等	
	林地・治山施設	187 (4,302ha)	46,348	-	46,348	林地崩壊、治山施設の損壊等	
	林道施設	323	4,410	-	4,410	林道の損壊等	
	林業・林産施設	20	136	-	136	木材加工・特用林産施設等の損壊等	
	特用林産物	34	-	209	209	きのこ類の廃棄等	
	小 計	603	51,300	221	51,521		
建 設 部	公共土木施設等	河川	99	27,062	-	27,062	河道埋塞等
		道路	336	13,426	-	13,426	崩土除去等
		橋梁	22	988	-	988	橋梁損傷等
		その他	72	6,013	-	6,013	下水道・公園・公営住宅の損壊、堆積土砂の排除等
	小 計	529	47,489	-	47,489		
企業局	施設被害	4	90	-	90	水力発電施設・工業用水道施設の損壊	
教育庁	施設被害	419	6,119	1	6,120	学校・社会教育施設・文化財の損壊	
道警察	施設被害	54	102	-	102	庁舎・交番・駐在所・公宅・信号機等の損壊	
	合 計	-	145,802	16,287	162,089		

※国の直轄事業は計上していません。

(3) その他：交通や観光等への影響

区 分	内 容																														
交通関係 (総合政策部)	<p>《鉄・軌道》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全線運休（JR北海道、JR貨物、札幌市交通局、函館市交通局、道南いさりび鉄道） （運転再開：9月7日一部運行再開。11月19日現在、ほぼ平常運行。） <p>《バス》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般路線・都市間ともに主要バス事業者のほぼ全線運休 （運転再開：9月8日 ほぼ通常運行） <p>《フェリー・海上交通》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常運航 ・苫小牧港国際コンテナターミナル閉鎖（再稼働：9月11日） <p>《航空・空港》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新千歳空港ターミナルビル閉館（開館：9月7日10時） ・新千歳空港発着便全便欠航 （運航再開：国内線：9月7日、国際線：9月8日） 																														
商工業における影響額 (経済部)	<ul style="list-style-type: none"> ・商工業において、停電により営業（操業）を取りやめたことによる売上（出荷）への影響額を推計。 影響額 約1,318億円 																														
観光被害等 (経済部)	<p>《観光施設の被害》[北海道経済部観光局調べ] (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="421 1160 1099 1285"> <thead> <tr> <th>宿泊施設</th> <th>道の駅</th> <th>観光施設</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>152</td> <td>35</td> <td>59</td> <td>20</td> <td>266</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1184 1160 1370 1285"> <thead> <tr> <th>被害額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>253百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>《キャンセルの状況》[観光被害対策連絡会調べ]</p> <table border="1" data-bbox="421 1368 1453 1628"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>キャンセル数</th> <th>影 響 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿 泊 施 設</td> <td>1,149千人泊</td> <td>14,027百万円</td> </tr> <tr> <td>観 光 ・ 体 験 施 設</td> <td>210千人</td> <td>920百万円</td> </tr> <tr> <td>フェリー・遊覧船</td> <td>33千人</td> <td>53百万円</td> </tr> <tr> <td>観 光 バ ス</td> <td>9千台</td> <td>795百万円</td> </tr> <tr> <td>レ ン タ カ ー</td> <td>38千台</td> <td>703百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎観光消費影響額の推計 [北海道経済部観光局] 約356億円</p> <p>※宿泊施設のキャンセル数をもとに、交通費や飲食・土産物消費などを含めた、観光消費の影響額を推計。</p>	宿泊施設	道の駅	観光施設	その他	計	152	35	59	20	266	被害額	253百万円	区 分	キャンセル数	影 響 額	宿 泊 施 設	1,149千人泊	14,027百万円	観 光 ・ 体 験 施 設	210千人	920百万円	フェリー・遊覧船	33千人	53百万円	観 光 バ ス	9千台	795百万円	レ ン タ カ ー	38千台	703百万円
宿泊施設	道の駅	観光施設	その他	計																											
152	35	59	20	266																											
被害額																															
253百万円																															
区 分	キャンセル数	影 響 額																													
宿 泊 施 設	1,149千人泊	14,027百万円																													
観 光 ・ 体 験 施 設	210千人	920百万円																													
フェリー・遊覧船	33千人	53百万円																													
観 光 バ ス	9千台	795百万円																													
レ ン タ カ ー	38千台	703百万円																													
イ ベ ン ト (経済部)	<p>《イベントの中止状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・39件 ※一部中止を含む。延期を含まない。 はこだてグルメサーカス 2018、釧路大漁どんぱく、さっぽろオータムフェスト 2018（一部中止） など 																														